



# 希望のひかり 第73回

ILC (国際リニアコライダー) 計画の各種最新情報をお届けします

## 仙台で国際会議 「仙台宣言」を採択

ILCに関する国際会議「LCWS2019」が、仙台市の仙台国際センターを会場に、10月28日から開催されました。LCWSは世界中の素粒子物理学者で構成する「ILC(リニアコライダー)・コラボレーション」が主催し、23の国や地域から430人の研究者などが参加しました。会議ではILCに関する技術研究の発表や、設計について協議が進められ、最終日の11月1日には、世界の研究者の総意として「仙台宣言」が採択されました。

### 「仙台宣言」要旨

- ・ヒッグス粒子の研究拠点となるヒッグスファクトリーとしてのILC建設の重要性を再確認する
- ・重要で不可欠な技術は既に開発・実証されている。ILCの設計は成熟しており、建設の準備が整っている
- ・国際会議を通じて、日本、東北のコミュニティや産業界からILC実現への強い支持と熱意を感じた
- ・国際会議に参加している国際コミュニティは、ILCに取り組み世界中の仲間と共に、ILCの建設および科学的探究を国際プロジェクトとして推進することを改めて誓う



LCWS2019では、岩手県南・宮城県北の8市町がブースを出展し、地域の魅力をPRしました

## 国立天文台水沢創立120周年記念展示会

奥州水沢で緯度観測が開始されてから今年で120年を迎えます。その記念事業として、国立天文台水沢と奥州水

沢が共に歩んできた歴史の展示をします。

●記念展示会「緯度観測所の歴史 明治から戦後まで」

■期間 12月15日(回)〜21日(回)

■17日(回)は休館

■時間 午前9時〜午後5時

※15日(回)は午後1時から

■会場 奥州宇宙遊学館 2階セミナー室

■内容 当時の貴重な写真や資料などの展示

■入館料 200円

■その他 昭和から現在までの観測所の歴史をテーマとした展示や、Z項発見につながる観測を行った旧眼視天頂儀室の内部公開(12月22日(回)まで、晴天時のみ)なども行われます。

## One Loveタウン キッズワーカーズ

11月10日に胆江青年懇話会が、小学生による職業体験「One Love タウンキッズワーカーズ」をヒロノ福祉パーク江刺総合コミュニティセンターで開催しました。

このイベントは、仕事を体験してイベント用の仮想通貨



磁界に電気を流す実験に興味津々の子どもたち

# 地域おこし協力タイムス

現在市で活動している地域おこし協力隊の隊員が交替でお届けします。第10回は「観光化推進員(台湾向け交流促進コーディネーター)」の陳平芸さんです。



こんにちは! 観光化推進員の陳平芸です。雪も降ってきましたが、皆さんは暖か

かしていますか?

さて、今年12月に奥州市から一人の芸術家が台湾の台東県に滞在し、作品を作ることになりました。その芸術家は、衣川で農業をやりながら絵を描いている加瀬薫さんです。

今年5月ごろ、台東県が世界中に芸術家交流の募集をしました。「奥州市からも芸術家にぜひ来てほしいですね」と台東県政府の方が私に声を掛けてくださいました。この事業は、芸術家を受け入れて台東の文化を体験してもらい、創作意欲を促し、「文化交流」につなげることを目的としています。募集していることを知った加瀬さんが応募し、たくさんの応募者の中から選ばれました。

加瀬さんは、水性ペンキやアクリル絵の具を使ってキャンバス作品を描いたり、DJやバンドのメンバーと一緒に空間で絵を描くライブペイントという活動を行ったりしています。加瀬さんに、なぜ応募したのか聞いたところ「今まで海外に行った経験もなく、国内で活動してきました。この企画を知り、台湾



加瀬さんが描いた作品



創作に励む加瀬さん



【Facebook】 【Instagram】

の文化や風景、雰囲気を感じた作品と現代の日本、台湾の雰囲気をミックスしたような絵が掛けたいいな、と思ったからです」と語ってくれました。

初海外の加瀬さんは台東県の風景を見て、どのような絵を描くのでしょうか? 加瀬さんが台湾で描いた絵や見た風景をwalk on soilのFacebook (Walk on Soil / 土と旅と人)とinstagram(@walkonsoil)にアップしていくので、気になる人はフォローしてくださいね!



## おしょうしゅう 羅針盤

吹く風や朝の水の冷たさが身にしみること頃、いかがお過ごしですか。

11月9日、天皇陛下御即位を祝う国民祭典の郷土芸能パレードに、本市から奥州江刺百鹿大群舞が出演し、躍動感あふれる演舞を披露しました。全国各地から集まった観客から大きな喝采を頂戴し、鹿踊、また本市の魅力を存分に感じていただけたと思います。

同日、京都の清水寺で行われた阿弓流為・母禮之碑の法要に出席しました。今年には碑の建立から四半世紀を経た節目の年となり、参列した奥州市民、関西アテレイ・モレの会、関西奥州会などの皆さんと、改めて郷土の英雄をしのびました。これからは、森貫主をはじめとした関係者の皆さんとのご縁を大切にしてい

11月3日、姉妹都市である掛川市を訪問し、掛川商工まつりに参加してまいりました。折しも、11月は「姉妹都市を味わう日」として、市内小学校で掛川市特産の緑茶を使った給食が提供されるなど、掛川市とのつながりを実感する月となりました。今後ともさまざまな場面で、交流を続けてまいります。

11月上旬、スペインカヌーチームが来奥し、奥州いさわかヌー競技場で練習を行いました。市民を対象としたカヌー教室も開催され、前月のNHK杯国際大会で優勝した選手らによる直接指導も行われました。引き続き、東京オリピックの事前合宿候補地として誘致に努めてまいります。11月23日、一関・盛岡間駅伝競走大会で、奥州市Aチームが準優勝しました。選手や関係者の皆さん大変お疲れさまでした。2年連続の準優勝というところで、来年はぜひ、悲願の初優勝が実現することを期待しています。

奥州市長 小沢昌記

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽に質問ください。お問い合わせ先「本コーナー」の推進室 (024-221-2200) FAX 221-2203 | i.cof@y.odn.jp